

この情報は主に海外の業界誌を紹介・抄訳するものです。誤情報や誤訳に対し JBAA は責任を負いません。情報の使用に際しては、記載されている URL の情報源をご確認下さい。

ビジネス：

#### **HondaJet のアジア進出戦略**

2017年4月7日：Aviation International News

2015年12月に型式証明を取得した HondaJet は、2017年3月末の時点で37機が納入されていて、その先1年間は月産5機で60機以上の納入が計画されている。現時点では HondaJet はアジアでは販売されていないが、Honda Aircraft 社の藤野社長は AIN 誌の取材に応じ、間もなくアジアでも販売を展開することを示唆した。中国については、国土の大きさ、飛行場の整備状況（短距離滑走路が多い）、実用性を重んじる若年富裕層が HondaJet の追い風になると語っている。中国以外ではマレーシア、インドネシア、シンガポールが有力であるが、日本についてはビジネス航空機に対する空港の整備が進むまで今しばらく待たねばならないとしている。なお、HondaJet は ABACE 2017で展示される。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-07/hondajet-makes-chinese-debut-abace-show>

#### **ABACE 2017はアジアのビジネス航空の将来を占う**

2017年4月7日：Aviation International News

2016年の ABACE は、中国での需要低迷にも関わらず出展規模では過去最大のものとなった。2017年の ABACE が前年を超えることができるかどうか、アジアのビジネス航空の将来を占う材料となる。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-07/abace-2017-key-indicator-asian-bizav-fortunes>

#### **AsBAA、徐々に影響力を強める**

2017年4月6日：Aviation International News

AsBAA (Asian Business Aviation Association) は、2年前は名前だけの協会であったが、1年半前から行動を起こし、その影響力を徐々に強めている。同協会の会長によると、活動の重点は①負の印象を払拭するために、ビジネス航空の価値をメディア、政治家、当局に説明する、②業界内外とのネットワークを構築する、③会員を増強する、ことで、具体例が縷々述べられている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-07/abace-2017-key-indicator-asian-bizav-fortunes>

機材：

#### **Diamond Aircraft 社、ヘリコプター製造に参入**

2017年4月6日：FlightGlobal

オーストリアの小型飛行機メーカーである Diamond Aircraft 社は、レシプロ小型ヘリ DART 280型機の開発を発表した。同型機は複合材料を用い、最大離陸重量は1,350kg (2,500lb)の4座席で、ジェット燃料を使用する。初飛行まで18ヶ月、その後の型式証明に12か月の開発期間を見込んでいる。

情報源：<https://www.flightglobal.com/news/articles/aero-diamond-enters-helicopter-market-with-dart-280-435959/>

#### **Quest Kodiak 100、EASA の型式証明を取得**

2017年4月6日：Aviation Tribune

Quest Aircraft 社の発表によると、同社が製造している Kodiak 100型汎用単発ターボプロップは EASA の型式証明を取得し、その数は50か国/地域を超えた。

情報源：<http://aviationtribune.com/airlines/north-america/quest-aircrafts-kodiak-100-receives-easa-certification/>

#### **Embraer Phenom 100EV 初号機が納入される**

2017年4月4日：BART International

2017年4月3日：Aviation International News

Embraer Executive Jet 社は、2017年3月31日に米国の匿名の顧客に Phenom 100EV の初号機を納入したことを発表した。同型機は2008年に就役した Phenom 100のAVイオニクスを Garmin G3000に更新し、エンジンの推力を強化したものである。

情報源：<http://www.bartintl.com/headlines/apr-2017/embraer-delivers-first-phenom-100ev>

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-03/embraer-hands-over-first-phenom-100ev>

### **Daher 社、TBM 910モデルを発表**

2017年4月6日：FlightGlobal

2017年4月4日：BART International

2017年4月4日：Aviation International News

Daher 社は、TBM 900型機の新モデル TBM 910を発表した。性能は TBM 900と変わらないが、AVイオニクスが Garmin G1000から G1000 NXi に更新されている。同社は1991年に最初の与圧単発ターボプロップ TBM 700を就役させ320機を納入した後、2005年に TBM 850を就役させ340機を販売した。また2014年3月に TBM 900を就役させ120機をこれまでに納入している。更に2016年4月に発表された TBM 910の上位モデルである TBM 930も50機販売している。

情報源：<https://www.flightglobal.com/news/articles/aero-daher-unveils-tbm-910-435964/>

情報源：<http://www.bartintl.com/node/21998>

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-04/daher-launches-tbm-910-sun-n-fun-2017>

### **安全：**

#### **最近の事故調査報告**

2017年4月6日：Aviation International News

中間報告

Eurocopter EC135, Feb. 7, 2017, near Beattyville, Ky.—EMS 運航において Hard Landing となり横転。南西から35kt の風が吹いていた。機体の損傷状況が報じられている。パイロットと乗客2人に怪我はなかった。

BAe-125-800B, Feb. 9, 2017, São Paulo-Guarulhos International Airport, São Paulo, Brazil—離陸時に左 Main Landing Gear のタイヤがパンクしたが飛行は継続された。着陸時に左 Main Landing Gear が折れ、機体は滑走路から逸脱した。

Textron Cessna 208B, Feb. 9, 2017, Illertissen Airport, Germany—訓練飛行の着陸時に右 Main Landing Gear が折れた。パイロットは Go Around を実施し、45分間場周経路を飛行した後、滑走路脇の草地に着陸した。機体の損傷状況は不明

Beechcraft Super King Air B200 , Feb. 21, 2017, Melbourne-Essendon Airport, Australia—離陸直後、機体が左に傾き、機首から近くのショッピングセンターの建物に突っ込んだ。パイロットと4人の乗客は死亡した。パイロットは Mayday を通報していた。

Aerospatiale SA-341, Feb. 25, 2017, Aygыз, Kazakhstan—悪天候の中の、カザフスタン東部での墜落事故。詳細は不明。

AgustaWestland A109E, Aug. 2, 2016, Munich, Germany—Simulated Engine Failure を実施中、Hard Landing した後に蛇行。Nosewheel Center Mechanism Pin は装着されていなかった。また、Nosewheel Locking Lever が “Lock” 位置になっていなかった。

最終報告

Pilatus Britten-Norman BN-2T Islander, April 13, 2016, Papua New Guinea—燃料枯渇のために右エンジンが停止。重心位置が運用限界よりも後方であったため着陸のためにフラップを下したところ機首が上がり、Nose Trim で対処できずに失速してほぼ垂直に機首から地面に墜落。パイロット1人と乗客11人が死亡。

Beechcraft King Air B200, Oct. 26, 2016, Brisbane Airport, Australia—夜間の離陸に際し、管制官から離陸を急がされたパイロットは滑走路中心線灯ではなく滑走路灯に Line Up して離陸を開始して灯火を損傷。Intersection Takeoff を行ったため、誘導路中心線灯は滑走路中心線灯に繋がっていなかった。また、当該機の Taxi Light は LED であったため、滑走路灯と滑走路中心線灯を区別するのが困難であった。

Cessna 208 Caravan, Nov. 11, 2016, Darwin Airport, Northern Territory, Australia—訓練生が操縦する訓練飛行の離陸において、86飛行時間前に行われた整備作業で Fuel Line Locking Plate が取り付けられなかったために、Fuel Transfer Tube が徐々抜け出し、離陸直後にエンジンが停止した。教官

[テキストを入力]

が操縦を代わり、180度旋回をして誘導路に着陸することができた。教官の操縦操作の詳細が報じられている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-06/accidents-april-2017>

#### **EASA、小型航空機にも飛行記録装置の装備を義務付ける NPA を発行**

2017年4月6日：Aviation International News

EASA は、最大離陸重量が2,250kg (4,960lb) または座席数が9を超えるタービン飛行機およびヘリコプターについて、航空運送事業においては義務として、その他は自主的に飛行記録装置の装備を求める NPA を発行した。この規則は早ければ2018年末に発効し、発行から3年経ってから製造される航空機に適用される。飛行記録装置のパラメータやデータ秘匿の運用が報じられている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-06/easa-proposes-requirement-records-light-aircraft>

#### **EASA、CS-23の改訂作業を完了**

2017年4月5日：Aviation International News

EASA は、FAR Part 23の全面改訂に対応する CS-23の改訂作業を終え、米国とほぼ同時期の2017年8月15日に発効させる。欧州の業界関係者のコメントが紹介されている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-05/easa-completes-new-revolutionary-cs-23>

以上